

主題：ヨベル

メッセージ 5

ヨベルの源、ヨベルにおける祈り、ヨベルの祝福、ヨベルの霊
聖書：ルカ 1:78 前半、15:20、11:1-13、18:1-8、24:50-53、1:46-47

I. ヨベルの源は、「わたしたちの神のあわれみ深い慈しみ」——父なる神のあわれみ、慈しみ、慈愛です——ルカ 1:78 前半、15:20 :

- A. 「かみのあい、あわれみ、主をわれにのぞます。暗くくに座すひとに、御かおはかがやく」——詩歌 156 番、2 節。
- B. 慈しみとは、愛情ある者の心の中に起こる内なる感覚を指しています——ローマ 9:15 :
 - 1. 慈しみとは、悲惨さを見渡す者の心にある感覚です——ルカ 15:20。
 - 2. 「慈しみ」は、あわれな状態にある人に対する神の内なる愛情を示す最も深い言葉です。それは御父の愛情深い愛の表現です——1:78 前半。
- C. わたしたちの救い主なる神の慈愛が現れました。そして神の慈愛はわたしたちを悔い改めに導きます——テトス 3:4-5、ローマ 2:4、エペソ 2:7。
- D. あわれみは、神の属性の最も遠く届くものであり、恵みと愛よりも遠くに届きます——4 節、ローマ 9:15-16 :
 - 1. 神のあわれみを知るなら、自分の努力に何も信頼しないでしょ——16 節。
 - 2. わたしたちの目が開かれて、神のあわれみに依存するあらゆるものを見る時がなければなりません——15 節。
 - 3. わたしたちは主権あるあわれみのゆえに御父を賛美し、あわれみのゆえに彼を礼拝する必要があります——詩歌 20 番。

II. ルカによる福音書の祈りはヨベルの祈りです——3:21、5:16、6:12、28、9:18、29、11:1-2、18:1-13、19:46、21:36、22:40、44-46 :

- A. 主イエスは祈りの人でした——3:21、5:16、6:12、9:29。
- B. わたしたちは真の祈りを知って経験する必要があります——11:2 :
 - 1. 真の祈りとは、わたしたちが霊の中で神とミングリングされる祈りです——エペソ 6:18、I コリント 6:17。
 - 2. 祈りの真の意義は、わたしたちの霊の中で神と接触し、神ご自身を吸収することです——ルカ 6:12、ユダ 20 節。
 - 3. 祈りは人と神との相互の接触です——I ヨハネ 5:14-15。
 - 4. 祈りは神を呼吸し、神を獲得し、神によって獲得される人です。真の祈りは、神の御前で吐き出し吸い込み、わたしたちと神とを互いに接触させ、互いに得させることです——I テサロニケ 5:17。
 - 5. わたしたちは祈れば祈るほど、ますます三一の神で満たされます——エペソ 3:14-19。
 - 6. 祈りは、人が神に人を通してご自身を表現していただき、こうして彼の定められた御旨を達成していただくことです——ヤコブ 5:17。
 - 7. 祈りの方は、神と協力し、神と共に働き、神に彼ご自身と彼の願いを、自分の内側から、自分を通して表現していただきます——ローマ 8:26-27、ヤコブ 5:17、エペソ 1:16-23、3:14-21。

8. わたしたちが持つ祈りは、わたしたちがどのような人であるかにかかっています。
わたしたちの祈りは、わたしたちがだれであり、何であり、どこにいるかを現します——ルカ 9:54-55. I テモテ 2:8。

C. わたしたちの祈りの支配する原則は、その祈りがわたしたちを神の中にもたらしめるのであるべきです——ルカ 11:1-13 :

1. 真の祈りの結果は、わたしたちが自分を神の中に見いだすことです—— 2-4 節。
2. わたしたちは自分自身を神の中に祈り込む必要があります。そうすれば、神の中にある者として、命の供給を御父から、自分自身と他の人のために受けます—— 11-13 節。
3. わたしたちは主権ある神に、根気強く祈る必要があります—— 5-10 節. 18:1。

D. 第 18 章 1 節から 8 節に記述された祈りは、特別な方法でヨベルと関係があります :

1. このたとえで、義なる神は不義な裁判官にたとえられ、キリストにある信者たちはやもめにたとえられます—— 2-3, 6 節。
2. わたしたちには、神の復讐を必要とする敵対者、悪魔サタンがいます。わたしたちはこの復讐のために根気強く祈るべきであり、失望してはなりません—— 1, 3 節. 参照、啓 6:9-10。
3. 神は彼の迫害されている人々のために何も行っていないかのようにですが、わたしたちは悩まずやもめ、根気強く神に祈る者となることを学ばなければなりません——ルカ 18:3-5. イザヤ 62:6。
4. わたしたちは、ルカ第 18 章 1 節から 8 節に啓示されたような神を知る必要があります。
5. 神がわたしたちの敵に復讐することは、救い主の再来の時に起こります。根気のある祈りのための根気のある主観的な信仰は、やもめの信仰のように、勝利者が凱旋の中で戻って来るキリストに会い、王国の中でヨベルを享受するための神聖な要求です—— 8 節. 12:37。

III. わたしたちはヨベルの祝福を享受します—— 1:42, 45, 48, 68. 2:28, 34. 6:20-22, 28.

7:23. 9:16. 10:23. 11:28. 12:37-38, 43. 13:35. 14:14-15. 19:38. 24:30, 50-51 :

- A. 主の祝福はわたしたちを養い、命を与え、満足させます—— 9:16。
- B. まず、わたしたち自身が主の祝福を享受します。次に主はわたしたちを、他の人への祝福の源とならせます—— 24:50-51. ローマ 15:29, 13。
- C. 永遠の祝福とは、三一の神がご自身を彼の神聖な三一の中でわたしたちの中に分与し、わたしたちの享受となることです——民6:23-27. II コリント 13:14. エペソ 1:4-14。
- D. わたしたちの働き、クリスチャン生活、召会生活の中で、あらゆるものが主の祝福にかかっていることを、わたしたちが認識する日が来なければなりません—— 3 節。
- E. 正常なクリスチャン生活と正常な召会生活は、個人的な面と団体的な面でのヨベルにある生活であり、祝福の生活です——ルカ 24:50-51. ガラテヤ 3:14. II コリント 9:6. ローマ 15:29。

IV. わたしたちはヨベルの霊、すなわち、賛美、喜び、祝福、感謝の解放された霊を持つ必要があります——ルカ 1:14, 28, 42, 44, 46-48, 58. 2:10, 13. 6:23. 10:17, 20-21. 15:5-7, 9-10, 23-24, 32. 17:11-19. 19:6. 24:52-53。